

国内初の在来線自動運転 実証運転区間を延伸

2022年2月22日

日本信号株式会社

日本信号株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：塚本英彦）は、ATS-DK^{※1}をベースにした自動列車運転装置（高機能ATO（FS-ATO））^{※2}を開発し、2020年12月24日より開始された九州旅客鉄道株式会社（以下、JR九州）様・香椎線（西戸崎駅～香椎駅間）の実証運転において、自動運転に関する知見を蓄積してまいりました。

この度、実証運転状況が良好であるため、2022年3月12日より同装置を用いた運転区間・対象列車を拡大されます。これに伴い当社製品においても新たな機能追加・改良を実施いたします。

今後も「在来線における安全で安定した輸送を実現する自動列車運転装置」の開発を進め、2024年度末までの「運転士以外の係員が前頭に乗務する自動運転（GoA2.5）」の実現を目指してまいります。

<実証運転概要>

実施区間	香椎線 西戸崎駅～宇美駅（延伸区間は香椎駅～宇美駅）
使用車両	819系（DENCHA） ^{※3} 3編成（※3月12日時点の予定）
機能追加・変更点	① 編成両数に応じた停止位置に停車する機能の追加 ② 降雪等を考慮した走行モードの追加（自動モード変更は日本初） ③ 走行時消費電力を抑制する走行制御へ改良 （走行状態に応じた予測制御による経済運転機能は日本初）



※1 ATS-DK：JR九州様の信号保安システム。連続的な速度照査により列車制御を行うシステム。

※2 FS-ATO：保安装置と同等の信頼性とフェールセーフ性を有する高機能な自動列車運転装置。

※3 DENCHA：大容量の蓄電池を搭載した国内初の交流電化方式の架線式蓄電池電車。

問い合わせ先

日本信号株式会社

〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング13階

総務部 Tel 03-3217-7200 Fax 03-3217-7300 E-Mail info@signal.co.jp